

# 平戸くんち まら歩きMAP



※これ以外でも演舞披露する予定です。  
※行程については、時間・場所の変更や天候によっては中止になる場合があります。演舞の行程は、10月15日の広報ひらどでお知らせします。

▼平戸神楽は、壱岐を除く旧平戸藩領内の各神社の祭礼で舞われており、3本の真剣を抜き放って舞う「二剣」の舞は圧巻です。



現在の平戸神楽(国指定重要無形民俗文化財)は、松浦家29代鎮信(天祥)の時代に、壱岐出身の国学者橋三喜が、全国各地の一の宮を巡拝して調査研究を重ね、24番におよぶ平戸神楽を完成させたと伝えられています。最も番数が多い大々神楽は、秋季例大祭で奉納され、終了まで7～8時間におよびます。

平戸神楽を代表する演目の「二剣」は、真剣3本を使うことから別名「三本舞」とも呼ばれ、舞手の技術力・体力・集中力が求められる最も難しい演目であり「二剣」の舞の出来で神楽全体の完成度が決まるともいわれています。

**平戸大々神楽奉納**  
10月26日(水) 午前11時  
龜岡神社

